



シンボルマーク

シルバー おやべ

第 41 号

平成29年 1 月10日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67-4804
FAX (0766) 67-5515



迎春 2017

おらつちや、これからよお!

富山県シルバー人材センター
キャラクター
知恵ぶくろー君



クロスランドおやべのイルミネーション「おやべイルミ」

写真撮影：広報委員 松本 彦次



『トランプ次期大統領のジョーカーを 手にしないで景気を明るくする方案を』

理事長 東 勲

あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに平成二十九年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。会員の皆様には、今年も健康で元気にそれぞれの青春を謳歌されるようお願いしています。

当センターをご利用いただいている皆様には、今年の事業が益々隆盛に展開されることをご祈念申し上げます。今年も当センターをご指導、ご支援下さるようお願い申し上げます。

ここ一、二ヶ月間の世の中は、次期アメリカ大統領のものの見方が現在のオバマ氏とは異なり、TPP反対とか、我が国の経済にどのような影響を与えるのか、現在詳細には判明していない問題がどうなるかについても、願わくはアメリカの不動産王として事業経営に当たっており、経営のイロハには精通しているものの、パン・アメリカンの精神はあろうが、本当にこれまでの発言どおり実施されるのか全く予想できない。年始めに閣僚の方々の顔ぶれは明らかとなるうがいずれもその道に精進された方であり、アメリカは依然として自由主義経済、民主主義の盟主であることから世界経済の安定のため、どうすれば良いかをお示しただきたい。あなたのその動向が大いに懸念されている。

去る十月五日、自由民主党シルバ－人材セン

ター活性化議員連盟の国会議員の先生方が決議され、これまで事業振り分けで減額されてきたものから人材センター予算をしっかりと確保するよう要請する決議がなされ、関係方面へ陳情がなされた。当センターは、この決議内容を説明し、市長、議長に要望しました。この動きは、高齢者生きがいの充実や高齢者の就労に取り組むシルバ－の姿勢が高く評価された結果であると思います。国費ベースで十七パーセント増が要求され、地方公共団体にも要請されている。北信越の各県選出の国会議員の方々に是非この議員連盟に加入いただき、国会議員一丸となつてシルバ－のバックアップをお願いしたい。

今後とも二十五年九月に策定された中長期計画に基づき、会員の活動が市民に愛され、日中、テレビの前でボートと一日を過ごされている健康に自信のある高齢者の皆様、市民の方々はあなたのこれまで培ってこられた実力を期待しているのです。シルバ－会員になつて体を動かして、あなたの実力に応じた仕事に取り組んで下さい。また、老人生きがいセンターでは木工、陶芸、手芸などのサークル活動をやっていきます。事務局では高齢者の皆様に出来る仕事を発掘してまいります。そして地域社会から喜ばれる、会員にとって魅力あるセンターになるよう努めてまいります。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



理事長 東 勲

副理事長 村上 保 英

専務理事 佐 野 隆

理 事 吉 田 孝 則

五反田 範 子

高 西 久 文

中 村 利 夫

鳩 沢 修 一

前 清 一

松 本 彦 次

松 本 靖 臣

山 田 富 雄

葭 田 光 子

監 事 金 岡 亨 子

松 本 俊 夫

事務局職員一同

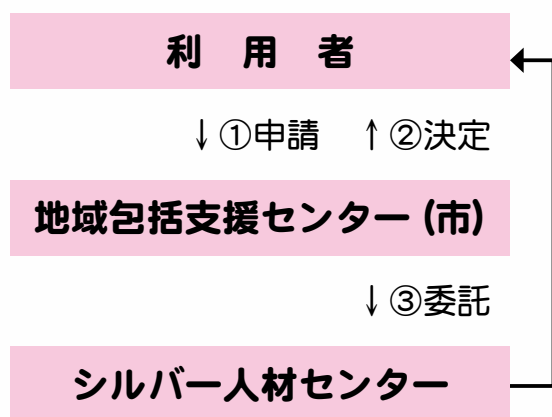
平成28年10月より

「訪問型サービス」を始めました！

介護予防・生活支援サービス事業（要支援認定者・基本チェックリスト該当者対象）

この事業は清掃や買い物、調理、布団干し、シーツなど大物の洗濯等、日常生活において一人ではできなくなっている生活行為に対して、小矢部市地域包括支援センターのアセスメントをもとに必要なサービスと内容について、利用者、ご家族と決定して、サービスを提供するものです。

※「基本チェックリスト」とは介護が必要になる原因（転倒・骨折のおそれ、認知症、低栄養、口腔機能の低下など）を早期に発見するためのものです。



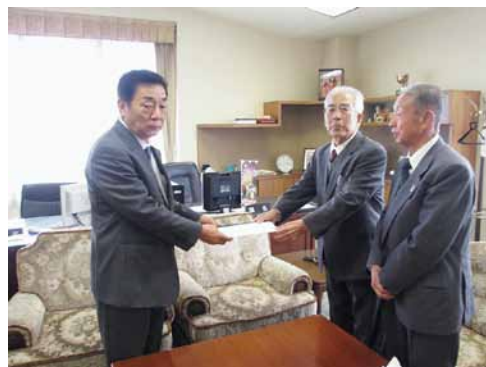
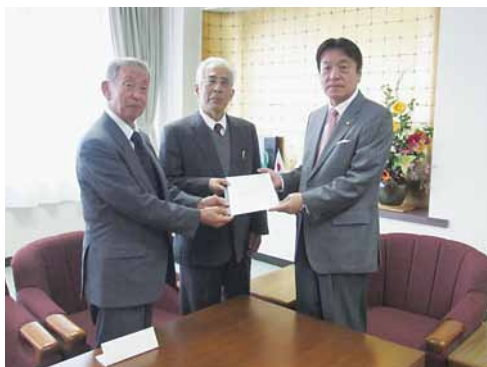
現在、小矢部市シルバー人材センターでは6名の会員（生活支援員）が登録されています。“皆様の身近で日常生活においてお困りの方がいらっしゃいませんか”小矢部市シルバー人材センターでは地域での生活を継続されている高齢者の方に対し、これからも地域とのつながりを維持できるよう支援をしてまいりたいと考えております。

支援要請について

平成28年11月14日、小矢部市長桜井森夫様及び小矢部市議会議長中西正史様へ平成29年度要望を行いました。

東理事長、村上副理事長、佐野事務局長が要望しました。

要望内容は運営・事業費補助金の予算要望等です。



先進地視察について

平成28年10月28日、村上副理事長以下32名は長野県上田市の（公社）上田地域シルバー人材センター（以下、上田地域S C）を視察いたしました。

上田地域S Cでは堀内理事長、北原副理事長、関専務理事兼事務局長、室賀業務係長に対応していただき、感謝している次第です。

上田市は歴史的文化遺産や特色ある伝統行事そして雄大な自然など豊富な観光資源を有しています。さらに、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映中でもあり多くの観光客が訪れていました。

上田地域S Cはいくつもの市町村合併により、現在上田市、東御市、^{とうみ}長和町、^{ながわ}青木村で構成された広域シルバー人材センターです。

会員は順調に増加しているところではありますが、女性の割合を高めるよう努力しているそうです。そこで、女性班（きずな）の活動にも力を入れ、女性会員の拡充強化と就業開拓を図っているそうです。

また、平成28年からの生活支援型訪問サービスにおいても実績をあげていること、そして技能講習会は多種多様な講習を開催されていることにたいへん驚きました。

このような上田地域S Cの取組みは今後の事業運営・推進にたいへん参考となるものでありました。



普及啓発活動

おやべ元気フェスティバル2016に参加

10月8日（土）クロスランドおやべにおいて、「おやべ元気フェスティバル2016」が、開催されました。

ボランティア部門では、手話、点字、音訳の体験コーナーや福祉用具の展示、毎年恒例のもちつき大会が行われ、シルバー人材センターのコーナーもあり、パネル展示や会員の入会促進のためチラシを配りました。

今、新聞、テレビ等で報道されているように、高齢ドライバーの事故が多発しています。今一度運転に気を付けて頑張りましょう。

来場された方々に元気、元気、いっぱい元気をもらいました。



広報委員 鳩沢修一

新入会員の

シルバーの会員になって

蕨波地区 谷 博道

シルバーの会員になって
もうすぐ2年になります。

私事ですが、定年後、孫
の世話や親の介護などに取ら
れていた時間が一段落し、時
間を有効に使いたいとシル
バーの門をたたかせて頂きま
した。

最初2、3の簡単な仕事
をさせて頂きましたが、昨年
の4月より、小矢部市環境セ
ンターの受付業務をさせて頂
いています。

いろいろなお客様を相手に金銭を扱う仕事で、大変では
ありますが、先輩の方々に教わり助けていたくださながら、勤
めています。

それにしても、長年携わっておられる先輩方は、皆さん
が仕事に信念を持ちハツラツとこなしておられるのには感心
します。

さて私はここに勤務するまで、ゴミのことに深く考えず、
不要になったものはゴミとして出せばいいやという位の簡単
な気持ちでいましたが、ゴミの処理には大変なコストもかか
り、埋め立て場所なども含めいろいろ大変で難しい課題があ
ることを痛感しました。

ゴミ問題は一小矢部だけでなく、大きく言えば、国全体
にかかる大きな問題ともいえると思います。出来るだけゴミ
を出さない生活、出たゴミも資源にならないか確認し分別す
る習慣を身に着けたいものです。

私は地域での環境保健衛生にも携わっていますが、シル
バー会員として環境センターでの仕事に従事して学んでいる
ことを、地域での活動にも生かしていきたいと考えています。

シルバーは私にとって一石二鳥であり生涯現役という私
の気持ちにぴったりです。

これからもよろしく願います。



働ける！働きたい！高齢者の方へ

シルバー会員に なりませんか？



会員になるには…

- ・原則60歳以上で、健康で働く意欲のある方。
- ・入会説明会を受け、シルバー人材センターの趣旨に賛同いただける方。
- ・所定の入会申込み書類を提出いただいた方。
- ・所定の会費を納入された方。

入会説明・相談会は

毎月第2・第4月曜日に14時00分から16時00分まで
小矢部市シルバー人材センターにて行っています。
(祝日等の場合は中止)

※詳しくは、小矢部市シルバー人材センターへお尋ねください。

公益社団法人小矢部市シルバー人材センター 職員募集

【募集人員】 1人

【勤務内容】 器材運搬及び事務等

【年齢要件】 35歳以下の人

【受験資格】 高校卒業及び今春卒業見込みの人または
同等以上の学力を有する人

【選考方法】 適性試験及び面接試験（2月下旬）

【提出書類】 採用試験申込書等

【申込期限】 2月10日（金）

※詳細はお問い合わせください。

【問い合わせ】 小矢部市シルバー人材センター

電話 076616714804



平成28年10月12日

(ボランティア活動)

交通安全講習会の後、会員及び役職員を含めて約150名がボランティア活動に参加しました。ラジオ体操で体をほぐし、ターゲット場内の除草を行いました。天候が心配されましたが、無事に活動を終えることができました。



(交通安全講習会)

クロスランドおやべにおいて、小矢部警察署交通課長 加藤雅彦様を講師に迎え、交通安全講習会が行われました。高齢ドライバーが気をつけるポイント、道路の横断中に交通事故に遭わないための対策について説明がありました。夜間はハイ

ビームを基本に運転すること、歩行者は反射材の着用により車から認識され易くすること等、高齢者が加害者や被害者にならないようにとのことでした。

また、富山県警察「安全情報ネット」の登録方法について説明があり、登録すると、不審者情報、特殊詐欺事件等の不審電話情報、交通安全情報等の情報提供が受けられるとのこと。ご家族に登録方法を教えてもらうことで、富山県警察「安全情報ネット」への登録が、犯罪防止、地域の連携、一家団らんのよい機会になればと思います。

(会員のつどい)

ボランティア活動の後、会員が持ち寄った野菜や遊休品でチャリティーバザーが催され、その売上げは、東日本大震災で被災した福島県内のシルバー人材センターへ義捐金として送られました。

折からの降雨により、会員はお弁当を手に帰途に就きました。短い時間ではありましたが、会員達の交流の場として有意義なものとなりました。



チャリティー募金の報告

10月12日に開催された「会員のつどい」におきまして、会員が遊休品を持ち寄って販売するチャリティーバザーを実施しました。この収益金36,584円を福島県シルバー人材センター連合会を通じて福島県内の被災地域のシルバー人材センターに寄付させていただきました。ご協力いただいた会員の皆様方に、厚くお礼申し上げます。

福島県シルバー人材センター連合会から届いたお礼状

理啓
向様の様 益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
本県のシルバー事業につきましては、いつもあたたかい御支援を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたびは、心温まる寄付金を賜り、東日本大震災よりお心遣いをお寄せいただき、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。
先月11月1日をもちまして、東日本大震災から5年と半年が経過いたしました。
震災前のような生活に戻りはじめている地域が増えてい一方、原発事故の影響が長引く状況のなかで、被災者の多くは避難生活を続けており、一部センターにおいては現在も避難所を開設し、復旧の見通しがたてられない状況でございます。
このようななか、毎年、皆さまから心温まる寄付金をいただき、感謝の気持ちでいっぱいでございます。
寄付金につきましては被災地域のセンターに対し、皆さまのお気持ちをとお届けし、1日も早く元日の生活を送ることができるようお役にたてさせていただいております。
来年度も、寄付金をお寄せくださいましたお一人一人の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、貴センターの御発展をお祈り申し上げ、お礼にさせていただきます。

敬具

平成28年11月2日

公益社団法人 福島県シルバー人材センター連合会
会長 鈴木 智夫
公益社団法人 小矢部市シルバー人材センター
理事長 奥 敏 雄

互助会だより

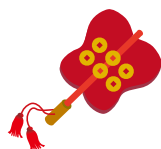
会員研修 十月二十七日(木)～二十八日(金)

上諏訪温泉、安曇野観光周遊と
真田丸大河ドラマ館の旅

水島地区 山田 富雄

副理事長の「今日の一日に感謝して楽しくいきましよう」の挨拶で出発しました。紅葉も深まりつつ車窓を尻目に懇談があちらこちらで始まり、あつという間に安曇野ワイナリに到着しました。ワインいっぱいつまった樽がある樽蔵を見学し、甘口、辛口のワインを試飲し、たくさんのお土産を購入しました。

次の訪問地、ちひろ美術館に到着。美術館の中には、絵画と色々な絵本があり、その中の一冊「新しい友との出逢い」の本より一節を紹介させていただきます。「老いてからの友との出逢いの素晴らしさを、新しい交わりの学びの場に自分を投入



今回の会員研修を企画された皆様に心から感謝し、来年も是非出席したいものと思っております。



すると、あなたの勇気ある行動が勝ち取った実のある出逢いなのです。あなたの実ある第三の人生が始まる」私には心に残るペー

夕日が沈む頃、宿泊地「ぬのはん」に到着。旅の疲れを温泉で取り、食べきれない程の料理を堪能しました。宴会では、会員を退屈させない幹事さん、またイルカ交通さんの心遣いであつという間に朝になり、清々しい諏訪湖が迎えてくれました。

二日目は諏訪湖から山越えで上田へ。上田地域シルバー人材センターでは大規模な組織運営に圧倒されました。

特需景気の真

田丸大河ドラマ館を見学。戦国時代最後の名将「真田幸村」の歴史を改めて目にしました。

「そば打ち」を体験して

松沢地区 葭田 光子



九月三日、十人の会員さん達と昨年より恒例となった「宮島そば打ち道場」へ行きました。会員の山口さん達の指導のもと、手順を習い二、三人のグループに別れテールブルの位置につきました。粉白粉のようなキメの細かい、それでいて冷涼感と重みのあるそば粉が用意されていて、感触を味わい、少しづつ水を加え練ってゆきました。体重をかけ渾身の力で押さ

込みながら鏡餅のような形に整えるまで、山口さんのOKが出るまで交替で練ります。それから手の平で丸四角になるよう伸ばし、いよいよ麵棒の出番です。打ち粉をふりかけながら上下斜めと圧を加えるのですが、髪や裂け目、ねじれが出来たり、時々他のグループの様子見し「麵棒の使い方が上手」「腰が入っている」とか、ワイワイ言いながら伸ばしてゆきます。包丁で切る段になると細いところ、太いところが出来、そして大釜でグループ毎に茹でて仕上げていただきました。歯ごたえのあるしつかりとしたそばは、とても美味で嬉しく食し、有難く感謝の念が湧いてきました。

十一月の研修旅行では、信州そばを昼食にいただきましたが、そば道場の経験があればこそこのことで信州そばの味わいも一入でした。

干し柿も白い粉をふき、蕪寿司も作りはじめる頃は、宮島そば道場も調整を終えた新そばの香りが満ち満ちているのではないのでしょうか。



安全管理委員会だより

事故ゼロを目指して！

明けましておめでとうございます。シルバー会員の皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当委員会では、「作業前 安全確認 もう一度」を今年度の安全就業スローガンに事故ゼロを目指し、独自の安全パトロール等を行っています。昨年9月には、(公社) 富山県シルバー人材センター連合会の酒井指導員とともに安全パトロールを行いました。富山県下のシルバーでは「指差呼称」の推進による安全確認や事故防止に努めており、様々な就業先における留意点についてご指導いただいたことは、とても有意義なものであったと思っています。

今年度これまで(4月～12月末時点)の事故については、機械刈作業中の飛石による物損事故1件、屋外軽作業中のケガ2件、清掃作業中のケガ1件、熱中症1件及び就業途上のケガ2件の合計7件の事故が発生しております。

事故内容を検証すると、自分自身の体調・健康管理や作業前の「指差呼称」等による安全確認・安全意識を高めることで防ぐことができた事故が何件かあったのではないかと思います。

当委員会では、会員の皆様一人ひとりが自発的に健康管理や安全確認を行い、事故防止・事故の再発防止

につなげていただけるよう、安全意識の高揚に努めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、会員の皆様におかれましては、安全・適正就業を通じて、今年一年のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

安全管理委員会 委員長 前 清一

指差呼称で 安全確認 事故防止

一般作業(例)

「服装」 ヨシ!
「体調」 ヨシ!
「安全確認」 ヨシ!

刈払機作業(例)

「保護具設置」 ヨシ!
「看板設置」 ヨシ!
「飛石対策」 ヨシ!
「車両の移動」 ヨシ!
「足元確認」 ヨシ!
「周囲の安全」 ヨシ!

剪定・雪吊り(例)

「安全帽装着」 ヨシ!
「安全帯装着」 ヨシ!
「足場確認」 ヨシ!
「開き止め設置」 ヨシ!
「三脚の結束」 ヨシ!

指 差 呼 称

ヨシッ!

ほのぼのコーナー



東部地区 忠田 勉

二人もエントリーしました。

マラソンを始めたのは、東京に住んでいた四十歳半ば頃、職場の仲間や近所の人たちと、一緒に走り始めたそうです。

“若い頃から陸上競技で、活躍されていたのですか”と聞くと、まったく有りません、ただ小さい頃から走るのが早かったと思います。定年を迎える前、お二人

昨年、忠田さんは富山マラソンに息子さん、娘さんと出場され、三人見事に完走されました。一昨年、ご夫婦で、仲良く完走されたのに刺激され、今年は、お子さん

でホノルルマラソンに出場され、途中歩きながら眺めたダイヤモンドヘッドが、素晴らしかったと、お二人眼を合わせながら、懐かしそうに話して頂きました。

奥様が「小矢部へ帰郷後も、私たち二人NAHAマラソン、能登と倉万葉の里マラソンのほか、いろいろと走っているんですよ」と楽しそうに話してくれました。

お話をお聞きしているお部屋の壁に油絵・水彩画がいくつも、なんと忠田さん自身が描かれた絵でした。感心して観ていると小さな声で、市展に三年続けて入賞したんです。

健康と体力維持のために走っているのですが、マラソンは長い人生のように山あり谷ありそして、苦しみ、喜びの中、二人で励ましあいゴールする喜びが有ります。

“夢は?”と聞くと、これからも元気で、息子・娘それに孫たちと一緒にマラソンに出場したいと幸せそうに、お二人声をそろえて答えて頂きました。

明けましておめでとうございます。昨年八月に開催されたリオデジャネイロ・オリンピックでは、富山県出身者二名の金メダリストが誕生し、県全体が喜びに沸き立ちました。厳しい練習に耐え抜き、最後まで諦めず戦い続ける柔道の田知本選手とレスリングの登坂選手の姿に勇氣と感動をいただきました。若い労働力が減少するなか、シルバー世代に寄せられる期待はますます高まっています。会員の皆様にはオリンピックの感動を胸に健康管理に努め、お客様と自分のために頑張ります。今年もよろしくお願ひします。

副理事長
広報委員長 村上 保英

あとかぎ

お知らせ



地区懇談会

とき 2月中旬～

安全就業講習会

とき 3月3日(金)

場所 クロスランドおやべ

※詳細が決まりましたら、あらためてお知らせいたします。